

昭和54年度施政方針

昭和54年度施政方針

昭和54年第1回定例議会を開催するに際し、私の新年度の市政運営にあたっての考えと、施策の大綱について申し述べさせていただきたいと存じます。

御案内のとおり地方自治体を取り巻く現下の諸情勢は、誠に厳しいものがございますが、議員各位をはじめ市民の皆様の深い御理解と御協力によりまして、当市は、健全財政を維持しつつ、順調なペースで市政運営がされておりますことを厚くお礼申し上げる次第でございます。

さて、私は、昭和39年に福生町長として就任して以来、常に社会福祉の向上を目指して都市環境の整備、施設の充実等に全力を尽くしてまいりましたが、新年度も、この市政運営の基本姿勢は貫いてまいる所存でございます。

既に御存知のとおり、都財政は極度にひっ迫した状況に陥り、補助金等の大幅なカットがされ、その結果、当市の昭和54年度予算も編成のし直しを余儀なくされるという緊急事態となりましたが、私といたしましては、今後も引き続き都に対し、関係市町村と一体となり、強力に復活要望を図っていくとともに、国に対し財源の増額要望、市自体におきましても税收の確保、冗費の節減など、財政基盤の確立のため、最大限に努力していき、市民の福祉向上に向け、全力で行政を推進していく覚悟でございます。

かような現況を踏まえ、今議会に御提案申し上げます昭和53年度一般会計補正予算第6号におきまして、仮称第八小学校建設基金及び都市施設整備基金として積立金を計上、更に昭和54年度予算におきましても、都下26市の申し合わせに基づき、都予算においては未計上となっております都支出金の一部を歳入として見込んだ予算を編成しております関係上、当面、当市におきましては、予備費に必要留保財源を計上いたしまして、今後の市財政運営に備えるとともに、今後、新知事の決定後の都における補正予算等の状況を見ながら、議会にも御相談申し上げて、市としての対応措置を決定していきたいと存じます。

次に昭和54年度の施策について、福生市基本構想に基づく三本の柱にそって、その主たる事務事業につきまして申し上げます。

最初に健康で幸せな市民生活をまもるための施策につきましては、公共下水道の推進、交通安全施設の整備、防災関連施設の建設、ゴミ減量思想の普及、福祉対策の推進等に引き続き努力をいたしてまいります。新規施策といたしまして、第三分団消防車庫の建設、高齢者事業団の設立、国保高額療養費貸付制度の新設、肢体不自由者の皆さんのための車椅子専用自動車の運行等を計画しております。

次に魅力あふれる住みよいまちにするための施策といたしましては、福生駅東口土地区画整理事業の推進及び西口開発事業への助成、道路、公園の整備等に意を注いでいきたいと存じますが、特に議員各位に御心配をいただいております市営住宅の建替えにつきましては、関係者の御協力をいただきながら2か年事業として進めてまいりたいと思います。

更に豊かな人間性と文化を育てるための施策といたしましては、社会教育施策においては、仮称中央図書館の完成、地域会館の建設、社会体育施設の整備と市民スポーツの振興、学校教育施策としては、二中体育館の建替え、二小プールの改修、全小学校の高学年用テレビのカラー化等学校施設の整備等を図っていききたいと存じます。

以上、昭和54年度の主たる施策について申し上げましたが、新年度は冒頭でも申し上げましたとおり、行財政運営は、より以上の厳しさが予想されますが、施策の厳選をし、後世に悔いのない市政運営を推進してまいりたいと思います。

最後に石油ショック以降の4年間、極めて厳しい経済社会の中であって、議員各位の御努力によりまして、市民会館、地域会館、健康センターの建設をはじめ、公共下水道の一部供用開始、加美平、福生駅東口地区の土地区画整理事業の進展、屋外スポーツ施設の充実、学校教育施設、公園緑地の整備等数えてみますと、あたかも本市の社会生活基盤のほとんどは、ここに御参集の議員各位の任期中のものと言っても過言ではないと思います。

ここに改めて、市政に尽くされました議員各位のたゆみない御尽力に対しまして深く感謝申し上げ、私の所信の発表を終わらせていただきます。